



○に入ることばを考えよう

緊急下に子どもが安心・安全にすごせる
場所は、○○○○○○です

セーブ・ザ・チルドレン ニュース



のと じしん
能登半島地震
きんきゆう しえん
緊急子ども支援

日本でも子どもとともに

2024年1月1日におこった最大震度7の能登半島地震。
セーブ・ザ・チルドレンは、2011年の東日本大震災の時
より行ってきた緊急子ども支援のノウハウをいかし、発
災直後から、石川県内でひさいした子どもたちやそ
の家族に、緊急支援を行っています。



これまでのおもな活動

1月1日
地震発生



出発準備



穴水町避難所



衣類の配布



PFA講座



給食の補食支援

4月10日にも能登半島地震
緊急・復興支援
として活動を続けます

「緊急子ども用キット」を配布



中には遊び道具、ドライシャンプーや歯みがきシートなどのえい生用品、防犯用のホイッスルが入っています。だん水が続く中「うれしい」といった声がありました。

「こどもひろば」の実施



子どもが安心・安全に遊びや学びができる空間です。自由に気持ちを表したりすることにより、心だんに近い生活をとりもどすための手助けとなります。

「子どものための心理的応急処置 (PFA)」伝える

見て気づく。
聴いて寄り添う。
安心へつなぐ。



だれもができるきん急時の子どものこころのケアの方法です。ひなん所でパンフレットを配ったり、学童保育の先生などに講座を開いたりしました。

動画は
こちらから



くわしくはこちら



物品や給食の補食支援

ひなん所や児童しせつへ、子ども服や文房具、えい生用品、おもちゃやヒーターなどを届けました。調理場が被害を受けた幼保園や小中学校に、飲料水や給食を補うための牛乳などをとけました。

世界での子ども支援活動

セーブ・ザ・チルドレンは世界でも、あらゆる危機にさらされている子どもたちに「こどもひろば」の設置、食料や水などの物品支援やこころのケアなどの支援を行っています。



世界の子どもたち バングラデシュ



14才のデブさんは、セーブ・ザ・チルドレンのプログラムに参加してから、食事の前と後には手を洗うこと、トイレの後は石けんを使うこと、などえい生について知ることができました。

©Hasan Iqbal / Save the Children

みんなができることってなんだろう？

学校での募金活動や文化祭でのチャリティイベントなどさまざまな方法があります。

くわしくは
こちらから

セーブ・ザ・チルドレンHP
「学校・市民グループの皆さまへ」



Save the Children

生きる、育つ、守られる、参加する。

世界中すべての子どもの権利が
実現された世界を目指して。

動画紹介

「子どもの声が
世界を変える」



www.savechildren.or.jp

セーブザチルドレン

検索

